

目 次

はしがき	i
第1章 紛争予防と平和構築の間 [星野 俊也]	1
1. はじめに	1
2. 紛争予防と平和構築	2
3. 平和構築の構造と我が国の取り組みのあり方	3
4. おわりに	4
第2章 平和構築と選挙支援 [篠田 英朗]	6
1. はじめに	6
2. 国際的な選挙支援の歴史	7
3. 平和構築における選挙の理論的意義	8
4. 平和構築における選挙が持つ問題点	11
5. おわりに	13
第3章 平和構築としての「法の支配」の確立 —東ティモールを例として— [山田 哲也]	17
1. はじめに	17
2. 東ティモール略史	18
3. 現行法システムの状況と課題	20
4. 法執行を巡る問題	21
5. 今後の展望：法制度を支える「文化」の構築を目指して	23
第4章 平和構築に向けたガバナンスの実験 —和平プロセスにおける国際刑事裁判所の役割— [鳥潟 優子]	27
1. はじめに	27
2. 国際社会における「法の支配」へ向けた取組み—平和構築の課題として—	28
3. 普遍的正義は実現するだろうか？ —「二重の基準」の功罪—	30
4. 国際司法裁判所の可能性と限界—リアリズムに基づく制度主義的提言—	34
5. おわりに	36
第5章 平和構築における経済協力の役割—主要ドナー国の実施体制 [渡邊 松男]	38
1. はじめに	38
2. 平和構築における協力—支援分野	38
3. 多国間機関の援助—EUの活動と役割	41
4. 英国	47

5. ドイツ	50
6. 平和構築における開発協力の影響	56
7. 平和構築と開発協力のありかた	57
第6章 「武力紛争と小型武器問題—DDR 支援を中心に—」 [山根 達郎]	63
1. はじめに	63
2. 小型武器問題とは何か？—冷戦後の武力紛争の特徴—	63
3. 小型武器問題と平和維持、平和構築との関係	68
4. おわりに—DDR の意義と問題点—	72
第7章 UNTAC から 10 年後のカンボジア—平和構築への課題 [水本 和実]	76
1. はじめに	76
2. 民主主義はどこまで根づいたか？—全般的な認識—	76
3. 主要課題とその問題点	81
4. おわりに	85